

校長室
だよ！

おみっ子

通信

令和7年2月28日
麻績小学校
No. 12



思い合いの心で みんなが笑顔！

2月には、今年度最後の参観日があり、各学年で1年間の学びのまとめとなるような授業参観や、保護者と児童がともに考えたり活動したりする姿が見られました。

保護者の皆様、ご来校ありがとうございました。

さまざまな人との学び合い ～多様性を包み込む学校～

本校は全学年が1クラスずつの小規模の学校です。子どもたちは保育園から中学校までほぼ同じメンバーで学校生活を送ります。みんながお互いのことをよく分かっているという良さもありますが、多くの人と関わり、その多様性から学び合うという経験は不足してしまう可能性があります。そこで、以下のように、様々な人と関わる活動に積極的に取り組んでいます。



体験入学で手を引く1年生



生坂小と英語で交流する5年生

学校の外から専門家の方をお呼びして授業をしていただいたり、ふるさとの文化や伝統に詳しい地域の方と一緒に活動したりすることも大切です。教科の学習からは得られない知識を身に付けたり、地域の良さを知り、ふるさとに愛着をもったりすることにもつながっています。



助産師のお話を聞く6年生



保存会の方と味噌をつくる2年生



他学年の先生と授業をする3年生



親子で郷土食を作る4年生

担任交代日は、学級担任が交代して学級活動や授業をすることで、多くの目で子どもを理解し育てていく取り組みです。子どもたちは「いつもと違う先生」と新鮮な気持ちで楽しく学んでいます。

また、今年度はPTAのご協力もあり、様々な行事で保護者の方が参加してくださる機会がありました。子どもたちにとっては、お家の方と一緒に活動することも、見方考え方を広げる経験となっています。

今年度も、残り1か月となりました。今年度を振り返ったり、来年度への抱負を考えたりしながら、子どもたちが希望をもって進級や卒業ができるように取り組んでまいります。